



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

## 2013年5月号

### 「主題」

- 国際会長 : 世を照らす光になろう  
 アジア地域会長 : 歳月はY'sをワイズ(賢者)にする  
 西日本区理事 : 先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で  
 中部部長 : 前へ! 声を掛け合い  
 プラザクラブ会長 : 明日に希望を クラブに活力を  
 強調月間・ポイント:【LT=leader-training・ワイズメンに対するクラブ内のトレーニングが出来ているでしょうか。ドロップアウトを減らすためにも考えてみましょう。】

### 5月例会および今後の予定案内

#### 【5月第1例会】

日時: 5月9日(木)・18:45-  
 場所: 名古屋YMCA会議室  
 内容: 卓話「大震災被災地を見て」  
 講師: 高田 廣

#### 【5月第2例会】

日時: 5月23日(木)・18:45-  
 場所: 名古屋YMCA会議室  
 内容: 次月例会の打ち合わせ  
 出席義務者: 役員(高田・榎田・常盤)  
 6月担当者(鈴木・万福寺)  
 7月担当者(後藤・島崎)

#### 【今後の予定】

- 東日本大震災から学ぶ講演会  
 日時: 5月11日(土)・18:30-20:30  
 場所: 東別院ホール  
 講師: 陸前高田市 市長 戸羽 太氏 他  
 費用: 1000円/人(協力費)
- 日和田キャンプ場30周年記念式典  
 日時: 5月25日(土)・前夜祭 19:00-  
 -26日(日)・記念式典 11:00-  
 場所: 日和田キャンプ場  
 費用: 日帰り2000円/人・泊り 3000円/人  
 \* (1泊の方は25日夜、バーベキューを行いますので、各自食材をご持参願います)
- 6月第1例会  
 日時: 6月13日(木)・18:45-  
 場所: 名古屋YMCA会議室

### 4月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者								
		1	2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
直前会長	大島 孝三郎	○	○	○	○					
副会長	小澤 幸男	○								
書記	榎田 守隆	○	○							
	後藤 猛	○	○							
	島崎 正剛	○								
	鈴木 誉三	○								
会長	高田 廣	○	○							
会計	常盤 眞理子	○								
連絡主事	万福寺 昭美	○	○							
ゲスト	中村 隆	○								
課外活動	①西日本区大会実行委員会 4/4									
	②中部EMCを考える会 4/14									
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
	⑦									
出席率(%)										100.0
クラブファンド(円)・当月/累計										44120
6月号寄稿者・高田(400字詰原稿用紙4-5枚程度)										
7月号・大島/8月号・後藤/9月号・常盤										

【2012-13年度クラブ役員】大島孝三郎・メール委員/小澤幸男・Yサユース/榎田守隆・広報事業・ブリテン担当・HP委員/後藤猛・

副会計/島崎正剛・EMC・交流/鈴木誉三・会計監査・地域奉仕・環境/高田廣・ファンド/万福寺昭美・連絡主事

LT・ワイズメンとしての指導力養成のための研修。西日本区ではワイズアカデミー委員会が次期区役員および次期クラブ会長・部事業主査の研修会を2002年まで開催していた。2003年度からリーダーシップ開発委員会と変わり、研修が引き継がれている。

## 4 月第 1 例会報告



### 1. 反省会

4月11日午後6時半より、メンバー9人に名古屋YMCA新総主事の中村隆氏をお迎えして、クラブ創立27年目の反省会? をケンポーで行った。高田会長の乾杯で会が始まる。小牧空港から花巻に、バスで陸前高田、三陸鉄道に乗って久慈市、北陸自動車道を経て青森市と「がんばろう東北・復興支援」のJTBツアーに参加して、つい2日前に帰った高田さんのお話は生々しい。現地の人は異口同音に「とにかく東北に来て、見て、買って」と言うらしく、先月YYフォーラムで講演した仙台YMCAの大村さんの言葉とも重なる。



酔っぱらった年寄り同士の会話は、脈絡がない。中国の鳥インフルエンザ、北朝鮮の威嚇、アベノミクスの行方、などの話題に「いつか来た道か」と深く考えなくなった。年を取ると時間の経つのが早く感じるのは、五感を通じて入った情報を長期記憶するのに時間が掛かる若者と違い、われわれ年寄りは過去に記憶した経験則ばかりで、新しく記憶する事が少なくなるからだ、物の本で読んだことがあるが。鳥インフルもSARSのように日本上陸か、北朝鮮・・・似てるなあ、高校の教科書「家永日本史」で習った第二次世界大戦前、ABCD(米・英・中・蘭)ラインで経済封鎖を受け、英米に主力艦の保有制限を無理矢理押し付けられた日本に。開戦してみれば、彼らは約束したトン数よりはるかに多い戦艦を保有していた、とか。ならばこれを

話題に、松岡洋右の「十字架演説(参考)」を切り出すつもりだったが、ひんしゆくを買いそうだし、中国の話で盛り上がっているのを止めた。ウダウダ余分なことを考えているうちに時間が来た。

### 2. 連絡事項・高田

(1) 4月14日、「EMCを考える会」出欠確認

出席・大島、榎田、島崎、高田

(2) 5月11日、「講演会・東日本大震災」協力費徴収

(3) 5月25-26日、「日和田30周年式典」出欠確認

出席・大島、榎田、後藤、島崎、高田

参考:1932年12月8日、国連総会で1時間20分の及ぶ演説、いわゆる「十字架演説」のくだりを抜粋

『人類はかつて2000年前、ナザレのイエスを十字架にかけた。しかも、今日、どうであるか。諸君はいわゆる世界の世論なるものが誤っていない、と保障できようか。われわれ日本人は、現に試練に遭遇しつつあるのを覚悟している。ヨーロッパやアメリカのある人々は、今20世紀における日本を十字架にかけんと欲しているのではないか。諸君! 日本はまさに十字架にかけられんとしているのだ。しかし、われわれは信ずる。固く固く信ずる。わずか数年ならずして、世界の世論は変わるであろう。しかして、ナザレのイエスが世界に理解されたごとくに、われわれもまた世界によって理解されるであろう、と。(三好徹著「夕日と怒濤-小説・松岡洋右- 文藝春秋」)』この演説に対してキリスト教国から「異教徒が」と猛反発されたが、松岡はアメリカ留学中にメソジスト監督教会牧師のお世話になり、帰国後洗礼を受けている。その後「満州事変は日本の侵略である」主旨のリットン報告書が1933年2月21日連盟総会に提出・審議され、25日賛成42、反対1、棄権1で採択した。日本政府は3月27日連盟脱退を通告する。

## 4 月第 2 例会報告

日時:4月25日(木)・18:45-

場所:名古屋YMCA会議室

### 1. 連絡事項・高田

(1) 5月第1例会内容

高田さんが「大震災被災地を見て」の卓話とする。

(2) 毎年6月開催のクラブ創立記念行事(POM)は7月に変更、内容は5月第1例会で新会長の意向を基に全員で討議する。

(3) 次期の年間行事計画は新会長に一任、ただし月ごとの担当者は今期通とする。

(4) 西日本区大会参加者

現在400人ほど、700人を目標に各地区部に呼び掛けている。

(5) 東日本大震災から学ぶ講演会

5月11日6時半から陸前高田市の上記講演会のチケットを8人分(8000円)集める。

#### (6) 行事参加者確認

根の上まつり、アジア大会 参加者なし

#### (7) 老人ホーム音楽慰問

小澤さんからの連絡で「場所は未定ですが、6月中に恒例の老人ホーム慰問の日時を」との依頼があり、6月30日(日)に決める。高田会長が返答のこと。

### 2. 連絡事項・榎田

#### (1) 陶芸教室開催

6月15日(土)-16日(日)1泊2日の予定で開催、先回の参加者から勧誘する。費用は5000円/人、夕食代は1人当たり1000円程度徴収する。

#### (2) クラブ主催の年中行事廃止

毎年10月に開催していた中高生のパレットキッズ対象のハゼ釣り大会は、今後も釣果が望めぬため廃止する。

### 3. YMCA 連絡事項・万福寺

#### (1) 日和田キャンプ場30周年記念式典

(詳細1面参照) 参加者・大島、榎田、島崎、高田

#### (2) 連休のYMCA出勤日

暦通り4月30日、5月1日、2日は出勤日です。

## 中部 EMC ワークショップ

国際協会西日本区主催のEMCワークショップが、4月14日米村謙一 EMC事業主任を講師にお迎えし、名古屋地区7クラブの会員40人余を集め、名古屋YMCA3階会議室で行われた。冒頭「今までEMCは新会員の獲得が目的化している。Extension=新クラブ設立、Membership=会員間の交流・親睦、意識高揚、新会員獲得、Conservation=クラブの健全な維持・存続、とは、まず、C=クラブの健全な運営、そして、M=親睦と交流、さいごに、E=新クラブの設立を、と順序が逆である」と述べ、まずクラブの健全な維持・存続と意識高揚が新会員を勧誘、定着させるための基礎になる。それがどの程度なのか、各クラブ自己診断してください、とA3の診断用紙が各自に配られ、クラブ毎に自己採点することになった。

わがチームは4人、それぞれが設問を読み5段階(1点から5点)で評価する。項目はAからF、設問はA-1からA-5まで、例えば・A定例会(第1例会)のあり方A-1「早めに集合し、お客様をお迎えする準備をしていますか?」F-1「YMCAの行事に積極的に参加していますか?」。各々が採点した点数を集計して、1時間ほどディスカッションをする。概ね4人の意見は一致するが、在籍年数と会長・主任を経験した人との認識のズレは止むを得ない。

やはり総合結果は、少数会員クラブの弊害が出るこ

とになった。A.定例会のあり方 B.企画例会(第2例会)のあり方 C.クラブ運営について F.YMCAについての4項目は高評価だったが、D.財政面について E.人材育成についての2項目は、現状のクラブでは如何ともし難い。設問の中での反省は、A-5「例会にてワイズの特徴を説明できるように資料などの準備をしていますか?」に、リーフレットの更新を忘れていたのを思い出した。また、E-4「経済的支援が必要なメンバーに育成制度や基金を持っていますか?」、の設問に、他クラブはこんなこともしているのかと驚かされる。米村主任は各クラブの結果をレーダーチャートにし、パワーポイントで映しながら講評する。午後7時、有意義な後援会が終わった。



(「新会員獲得」だけがEMC事業の目的ではありません)



(グループディスカッションは大島さんが進行役)



(ディスカッションの結果は島崎さんが報告)

## 東北旅行「復興支援企画」

我々が勤めていた会社の同僚で、親睦のために OB 会を結成し、毎年春秋の二回、二泊三日の国内旅行をしている。今年は、JTB 旅物語が企画した「がんばろう東北・復興支援」と題して募集していたパッケージツアーにする。我が OB 会で希望者を募り 20 名中 6 名が参加する事になった。4 月 7 日～4 月 9 日の(二泊三日)旅行だ。他の客を含めて総勢 32 名の団体だ。

県営名古屋空港 2 時 40 分発 FDA355 便にて一路いわて花巻空港に向けて 1 時間 20 分のフライト。一日目の宿は花巻温泉ホテルで、温泉に入りリラックスする。

二日目はホテルを 8 時に出発して、三陸と日本海の間は交流産直を見学、また被災地の映像鑑賞をしながら震災による人の絆に心打たれる。その後、世界遺産中尊寺に参拝して、バスは陸前高田に向けて走る。国道 343 号線を通り約 3 時間 30 分のドライブだ。風も強く時々雪が舞う中、目的地に近くなり景色が一変する。海が近くなるにつれ、流された家屋跡であろうコンクリート基礎のみが残っている。廃材やガラクタは片付けてあったが、山の様に積まれた集積場は、風に吹かれてほこりが舞っていた。現地ボランティアガイドの河野さんに、津波で亡くなった方々の献花場へ案内され、花を供える。話題の奇跡の一本松や被災地を見学する。テレビや新聞で見て想像は出来たが、現地を直接見ると声が出ない程の衝撃を受けた。ただただ一日も早く復興することを祈るばかりだ。被災現場を 1 時間半程見学して、浄土ヶ浜の宿パークホテルに到着する。今の三陸の海の景色は、何事もなかったように穏やかで絶景だ。旅の疲れを温泉で癒し、アワビや焼きウニと旬のお造り等で酒盛りも又楽しいひと時だった。

三日目は早起きして、活気を取り戻した漁港市場の競り市を見学に行き、9 時ホテルを出発して大船渡、釜石市の被災地を車窓から見る。バスは三陸普代駅に到着する。バスを下車して三陸鉄道北リアス線の列車に乗り換え、陸中海岸国立公園の絶景を眺めながら約 1 時間 20 分で久慈駅に到着する。今 NHK の朝ドラの舞台久慈を散策、全てが目新しい風景と街並みだ。昼食はウニ丼のご馳走だった。その後バスにて国道 281 号線を経由して東北自動車道を走り青森空港に向かう。空港で夕食を済ませて青森発 FDA368 便で県営小牧空港に 7 時 55 分に無事到着、二泊三日の旅を終える。

最後に陸前高田のボランティアガイドの河野さんの言葉を思い出す。自ら被災者で不自由な思いをされたが、福島原発事故地域を思いやる優しさに感動した。

(高田 廣)

## 聖書の言葉

【断食するときは、偽善者のようにやつれた顔つきをしてはいけません。彼らは、断食をしていることが人に見えるようにと、その顔をやつすのです。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。しかし、あなたが断食をするときは、自分の顔に油を塗り、顔を洗いなさい。それは、断食していることが、人に見られないで、隠れた所におられるあなたの父に見られるためです。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が報いてくださいます。(マタイによる福音書・6. 16-18)】

【旧約聖書では年 1 回、罪を悔い改めの断食を定めています。その後ユダヤ人は、年数回、国民的断食の日を定めました。イエスの時代には、断食自体に功德があると考えられ、ファリサイ人は 1 週間に 2 度、月曜日と木曜日に断食をしていました。この日は、市の立つ日でありました。ですから、自らの敬虔さを人々に見せるには絶好の日であったのです。いかにも断食をしているとわかるような雰囲気です。町に出たのでしょう。[www.nunochi.com](http://www.nunochi.com)】

【マルチン・ルターは、ローマ人への手紙 1 章 17 節に「福音のうちに神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる。」と書いてある通りです。」の一節から『義に生きるとは、さまざまな教会的手段、霊的訓練、祈りや断食などの修行によって得られるものではなく、キリストに依り頼む者に神から一方的に与えられるものである。』ことに気づき、「神の咎めを避ける義」の苦しみから「神の許しによる恵み」へと解放され、教会法を初めとする一切のものを捨て去ることを勧め、1521 年 1 月 3 日カトリック教会を破門される。

(dh-gospel.nsf.jp/essay/mame10\_12.htm) 伝統的な四旬節(しじゅんせつ・復活祭前の準備期間)の節制(断食)は、秋の収穫が初春には少なくなり、春に入る時期には食事を制限して乗り切らなければならなかった昔々の切実な問題から、と穿った見方もあるようだ。】

## Z o o m・余った行数で川柳と洒落てみました

現在、ユーロは 23 ヶ国で使用されているが、債務国(PIGS・ポルトガル・イタリア・ギリシャ・スペイン)が続出、優等生ドイツをイライラさせている。

- ・ユーロ圏 ブタさんたちが 食い荒らし
  - ・ユーロ国 儲かっているのは どいつだあ
- ついこの間、ユーロ圏全体の GDP がたった 0.2%で加盟したこの国も手を挙げた。
- ・GDP 重さ 2 厘で ユーロ入り
  - ・キプロスも 放蕩息子か ユーロ家の